



令和7年度

学校だより

小金井市立前原小学校 校長 小柳 政憲

6月30日発行 No.4

小金井市前原町3-4-22

TEL 042-383-1146

FAX 042-382-2046

HP: <https://www.maehara.school>

有意義な夏休みになりますように

校長 小柳 政憲

梅雨というより真夏という言葉が似合うような日々が続いています。暑すぎて中止になることも多いのですが、プールに入れた日には、校舎まで届く子供たちの歓声が清涼感を運んでくるようです。

6月21日に、今年度初めての学校公開を実施しました。進級した学年、学級での新しい友達や担任との様子はいかがだったでしょうか。各教室を回っていると、4年生のあるクラスの社会の授業で、担任から保護者の方へ向けて質問する場面がありました。それに対して、数人の方が手を挙げて答えてくださる姿を見て、積極的なご協力に感謝するとともに、子供たちに素敵な大人のモデルを示すという大きな教育効果をもたらしたと感じ、強く感動しました。たくさんのご参観についても、ありがとうございました。

さて、6月は、6年生の劇団四季の観劇からはじまり、3年生の多摩動物公園での理科見学、5年生の海の移動教室、4年生の清掃工場見学など校外での学習が多い月でした。校外学習に引率していつも思うのは、必ずと言っていいほど「わあ!」とか「お〜!」という、心が揺れた瞬間に発する声が通常より多くあがるということです。この心が揺れるという経験が、「やってみたい」(挑戦)、「もっと見てみたい」「もっとそのことについて考えたい」「その先が知りたい」(探究心)、「できるようにになりたい」(あこがれ)などの、好奇心と呼ばれるものの種になります。好奇心が、主体的な行動を誘発して枝葉を広げながら大きく成長し、学力テストのような数値で測ることが難しい、非認知能力という花を咲かせます。7歳から12歳という、まさに小学校段階は、この非認知能力がより一層強化されていく時期だと言われています。**【自ら目標を立て、それに向かって粘り強く努力する力】【目標達成のために、状況に応じてやり方を変えたり、工夫したりする力】【友達と協力したり、他者と良好な関係を築いたりする力】**を高めるために、今後も校外学習を大切にしていきたいと思えます。

残り登校日数14日で、夏休みに入ります。学校では学べないことをたくさん経験してほしいものです。まさに、非認知能力を高める絶好の機会です。

- ・子供の気持ちに寄り添う
- ・肯定的な言葉で励ます
- ・失敗しても前向きな言葉をかける
- ・子供の興味や関心を尊重する

これらのことをいつもより意識して過ごしてみるのはいかがでしょうか。

学校では、授業はもちろん、ハートフルウィークやけやき祭、今年度から行う「みんなの日(仮称)」など、子供たちが早く学校に行きたいと思えるような準備や環境づくりに努めます。子供や教員、保護者の皆様にとっても、充実した2学期を迎えるための素敵な44日間になりますように。